

## ■用語解説

※日本語⇒アルファベットの順番で記載しています。

用語	説明文	該当ページ
インクルーシブ教育システム	人間の多様性の尊重、精神的及び身体的な能力を、その可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加すること等の一連の目的のもとで、障害のある者となない者がともに学ぶ仕組みのこと。	20
開発的生徒指導	問題行動等を未然に防止するとともに、児童生徒の人格のよりよい発達を実現するために、一人ひとりが、自己肯定感や自己有用感、社会性を獲得することができる指導・支援のこと。	31
家庭教育支援チーム	子育て経験者をはじめとする地域人材で構成され、家庭教育や子育てに関する相談や関係する講座の開催など、主体的な活動を行うグループのこと。	27
学校安全の3領域	防犯を含む生活安全、交通安全、災害安全（防災）の3領域のこと。	32
協働活動サポーター	放課後子供教室を支える地域人材のことで、プログラムの企画や実施、児童の安全管理等を担っています。	27
コミュニティ・スクール	学校、保護者及び地域がともに意見を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、地域で育てたい子どもの姿を共有し、地域の創意工夫を活かした特色ある学校づくりを進め、地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組む仕組み。	25
シビックプライド	「この都市をより良い場所にするために自分自身が関わっている」というある種の当事者意識を伴う自負心のこと。	10
周南市コミュニティ・スクールアドバイザー	コミュニティ・スクールの取組の充実や水準の向上、小中連携の取組を推進するため、各学校の訪問指導・連携支援を行う、周南市が独自に配置している専門家のこと。	25
生涯学習主事	市民センター等において、社会教育法に定める公民館主事と同様の職務を担う職員。	42

用語	説明文	該当ページ
情報リテラシー	情報の特性や影響などを正しく理解し、目的に応じた判断や選択、発信ができる能力（情報を使いこなす能力）のこと。	30
スクールカウンセラー	教育機関において心理相談業務に従事する心理職専門家の職業名、および当該の任に就く者のこと。	20
スクールソーシャルワーカー	子どもの家庭環境による問題に対処するため、児童相談所と連携したり、教員を支援したりする福祉の専門家のこと。	20
スポーツリーダーバンク	体育・スポーツ理論に関する指導者、各種スポーツ・レクリエーションの指導者、健康・安全に関する指導者を登録し、指導依頼に応じて適切な指導者や助言者を紹介するシステム。	33
青少年育成センター	警察、学校、民間などと連携し、青少年の非行防止及び問題青少年の保護育成に関する活動などを行っている。事務局は生涯学習課内に設置。	29
地域学校協働活動	地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTAなど幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに「学校を核とした地域づくり」をめざして、地域と学校が相互に連携・協働して行う様々な活動のこと。	27
地域学校協働活動推進員	従来の統括コーディネーターのことで、本市においては、地域と学校との情報共有や助言を行う人材として各中学校区に配置し、校区内の小・中学校の地域コーディネーター等の連携を支援します。	27
特別支援教育コーディネーター	各園・学校における特別支援教育の推進のため、主に、校内委員会や校内研修の企画・運営、関係諸機関との連絡調整、保護者からの相談窓口などの役割を担い、園・校長により指名され、校務分掌に位置付けられる教員のこと。	19

用語	説明文	該当ページ
道徳的価値	よりよく生きるために必要とされるものであり、人間としての在り方や生き方の礎となるものである。 (出典：小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編)	12
ビッグデータ	従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群。明確な定義があるわけではなく、企業向け情報システムメーカーのマーケティング用語として多用されている。多くの場合、ビッグデータとは単に量が多いだけでなく、様々な種類・形式が含まれる非構造化データ・非定型的データであり、さらに、日々膨大に生成・記録される時系列性・リアルタイム性のあるようなものを指すことが多い。今までは管理しきれないため見過ごされてきたそのようなデータ群を記録・保管して即座に解析することで、ビジネスや社会に有用な知見を得たり、これまでにないような新たな仕組みやシステムを産み出す可能性が高まるとされている。(出典：IT用語辞典)	8
放課後子供教室と児童クラブの一体型教室	児童クラブに参加する児童も含め、希望する全ての児童が学校敷地内もしくは隣接する会場で行われる放課後子供教室のプログラムに参加できる環境にあること。	28
学びサポーター	学び・交流プラザにおいて、主に主催講座受講者が講座終了後に学習成果を生かし、講座など生涯学習活動の企画運営に関わるボランティアのこと。	43
やまぐち型地域連携教育	コミュニティ・スクールが核となり、各中学校区で地域のネットワークを形成し、学校・家庭・地域が連携・協働することにより、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組。	27
幼児教育アドバイザー	幼児教育の専門的知見や豊富な実践経験を有し、幼稚園、保育所、認定こども園等を巡回して教育内容等の助言を行う者。	15

用語	説明文	該当 ページ
幼保小連携アドバイザー	幼児教育の質の向上を図るとともに、小学校教育との接続の課題に対応するため、周南市が独自に配置している専門職員のこと。	16
レファレンス・サービス	利用者からの調査の依頼や問い合わせに対して、資料や情報を提供するサービスのこと。	50
ワーク・ライフ・バランス	働く全ての人々が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方。	33
I o T	「モノのインターネット」と訳され、様々な物にインターネットの通信機能を持たせて情報交換し、相互に制御する仕組み。Internet of Things の略。	8